

水産物の市況について(平成30年5月及び6月)

—東京都中央卸売市場における平成30年5月(平成30年4月21日～平成30年5月20日集計)の市況と、
平成30年6月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は前月と比べやや減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べ横ばいに推移しました。

II 平成30年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は常磐～三陸～道東で好調な水揚げが続くことから増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量はシーズンを迎えたトキサケが不漁であることや輸入の養殖物等が高騰していることからやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含むと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は三陸～常磐での水揚げが本格化することから増加すると見込まれるものの、輸出や缶詰の需要が強いことから浜値は高く、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は主力の北陸の水揚げが前月は低調だったものの、今後本格化することから増加、冷凍は横ばいと見込まれ、卸売価格は生鮮・冷凍とも引き続き高値で横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は盛漁期を迎え、安定した水揚げが続くことから横ばいと見込まれ、卸売価格はやや弱含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は需要期を過ぎたことからやや減少すると見込まれ、卸売価格はクロマグロとメバチマグロは横ばい、インドマグロはやや強含み、キハダマグロはやや弱含むと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は盛漁期に入ったことから前月並と見込まれ、卸売価格はやや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	5月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	34	1,030	38	1,045	33	1,069
前年	37	1,038	40	1,048	32	1,061

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	5月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	350	129	121	107
さけ・ます(平均)	1,032	103	96	135
(ぎんざけ塩蔵品)	1,057	105	101	134
(あきさけ塩蔵品)	783	92	104	129
(ときさけ塩蔵品)	1,296	122	124	144
(べにざけ塩蔵品)	1,053	82	102	107
(さけ類冷凍品)	999	104	92	138
さば(生鮮品)	316	80	89	87
するめいか(平均)	880	103	118	166
(生鮮品)	882	100	139	165
(冷凍品)	878	112	89	166
あじ(生鮮品)	521	96	94	92
まぐろ(冷凍品)	1,529	99	91	111
(めばち冷凍品)	1,040	92	83	104
(きはだ冷凍品)	962	97	85	109
(くろまぐろ冷凍品)	3,152	98	98	86
(みなみまぐろ冷凍品)	2,242	108	104	103
かつお(生鮮品)	749	109	124	108

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:5月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 小山、山崎

直通 03-3591-5612